

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	フェリ磁性スピントロニクス of 学理構築とデバイス展開
研究代表者	小野 輝男 (京都大学・化学研究所・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>応募者らは、フェリ磁性体合金が発現する新しい現象を最近発見しており、本研究では、その普遍性と多様性を探求するとともに、デバイス応用の観点から物性の理解を深化させ、新しい学理を構築するものである。</p> <hr/> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>フェリ磁性体が磁化をもつ反強磁性体として振る舞うという新しい性質の発見を基に、フェリ磁性体の物性の解明とともに、その利用に関する学術基盤を構築し、更には磁性体による新しいデバイスの創造へと発展するものと期待できる。</p>